

一般会計予算決算常任委員会
民生福祉分科会記録

平成29年12月7日

【開催日】 平成29年12月7日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後2時50分～午後3時28分

【出席委員】

分科会長	吉永美子	副分科会長	山田伸幸
委員	大井淳一郎	委員	杉本保喜
委員	恒松恵子	委員	松尾数則
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【分科会外出席議員等】

議長	小野泰		
----	-----	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川博三		
市民生活部長	城戸信之	市民生活部次長兼環境課長	深井篤
市民課長	長井由美子	市民課主査	藤上尚美
市民課住民係長	藤澤竜	環境課課長補佐	湯浅隆
人事課長	辻村征宏	人事課給与係長	林善行
健康福祉部長	岩本良治	健康福祉部次長兼障害福祉課長	兼本裕子
国保年金課長	桶谷一博	国保年金課主幹	安重賢治
高齢福祉課長	吉岡忠司	高齢福祉課課長補佐	河上雄治
高齢福祉課介護保険係長	篠原紀子	障害福祉課課長補佐	岡村敦子
障害福祉課障害福祉係長	大坪政通	障害福祉課障害支援係長	山本真由実
こども福祉課長	川崎浩美	こども福祉課課長補佐兼こども未来室長	大濱史久
こども福祉課主査兼子育て支援係長	別府隆行	こども福祉課保育係長	野田記代
こども福祉課子育て支援係主任	室本祐	健康増進課長	岩佐清彦
健康増進課技監	河野静恵	健康増進課成人保健係長	岡手優子
社会福祉課長	渡部勝也	社会福祉課課長補佐	池田康雄
社会福祉課地域福祉係長	桑原睦		

【事務局出席者】

事務局長	中村聡	議事係書記	原川寛子
------	-----	-------	------

【付議事項】

- 1 議案第83号 平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算（第5回）について（民生福祉分科会所管部分）

吉永美子分科会長 一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会を開会いたします。それでは本日は議案第 8 3 号、平成 2 9 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 5 回）について審査を行います。お手元の審査日程表のとおり行っていきたいと思っておりますので、審査への御協力をよろしくお願いいたします。それでは審査番号 1 番ということで、市民生活部関係ほか、まず歳出に係る説明を人事課から人件費全般につきましてお願いします。

辻村人事課長 それでは議案第 8 3 号、平成 2 9 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 5 回）のうち、人件費全般に係る説明をさせていただきます。お手元に資料として議案第 8 3 号参考資料、一般会計補正予算（人件費関係）説明資料というのをお渡ししておりますが、その 3 ページ目の最後に総計というところがありますけども、こちらで説明させていただきます。このたびの人件費の補正は、人事異動に伴う調整と決算を見込んでの給与等の調整を反映したものです。一般会計全体では 1, 7 3 7 万 9, 0 0 0 円を減額し、補正後の額を 4 0 億 3, 3 1 9 万 9, 0 0 0 円とするものです。費目ごとの補正額の内訳は、2 節給料については、4, 2 9 2 万 7, 0 0 0 円を減額するもので、主な要因は、普通退職や育児休業等に係る給料の減額等によるものです。3 節職員手当等については、3, 0 6 2 万 9, 0 0 0 円を増額するもので、主な要因としては、今年度の早期退職者分の退職手当の増と時間外勤務手当の増によるものです。次に 4 節共済費については、5 9 2 万 9, 0 0 0 円を増額するもので、要因としては、共済組合負担金の負担率の変動によるものです。次に 7 節賃金については、臨時職員の勤務実績から 1, 0 9 8 万 6, 0 0 0 円を減額するものです。最後に 1 9 節職員福祉費については、2 万 4, 0 0 0 円を減額するもので、人事異動に伴う調整です。

長井市民課長 補正予算書の 2 5 ページを御覧ください。2 款総務費、3 項戸籍住民基本台帳費、1 目戸籍住民基本台帳費、1 3 節委託料の補正について御説明いたします。これは、マイナンバーカード等の記載事項の充実に係るシステム改修事業に係るものです。最初に事業の概略を御説明いたします。政府は誰もが活躍できる一億総活躍社会を創るため、「女

性活躍」を中核と位置づけ、一人一人が自ら希望に応じて活躍できる社会づくりに取り組むとしております。その具体的取組として、市民の希望によりマイナンバーカードや住民票の氏名欄に旧氏を併記できるよう関係法令の改正が行われます。この改正に対応するため、住民基本台帳システム等を改修する費用として委託料344万6,000円を増額するものです。これに対する歳入は補助率10分の10の国庫補助金、社会保障・税番号制度システム整備費補助金を充てることとしております。以上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

深井市民生活部次長 6ページをお開きください。第2表債務負担行為補正でございます。この表のうち、3段目の斎場指定管理者委託料でございます。これは、議案第100号で御説明しました山陽小野田市斎場の指定管理者の指定に係る委託料でございます。先ほどの繰り返しになりますが、指定期間は平成30年4月1日から新火葬場の供用開始予定日の前日であります平成31年6月30日までの1年3か月間でございます。指定管理料につきましては、税込みで30年度は2,674万6,200円、31年度は670万1,400円で、各年度の1,000円未満の端数を切り上げて、合計3,344万9,000円となっております。以上です。御審議のほどよろしくお願いいたします。

吉永美子分科会長 続きまして歳出に対しましての質疑を受けるわけですが、最初に人事課から御説明がありました3ページの最後ですね。この部分についてはよろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは市民課から説明がありました2款3項1目、戸籍住民基本台帳の関係につきましての質疑ございますか。

山田伸幸副分科会長 先ほどの説明では旧氏の表記ができるようになるということなんですが、こういった希望等がそもそもあったんでしょうかね。どうなんでしょうか。

長井市民課長 特別、窓口のほうへそういう御希望があったわけではございません。ただ、今でもそうですけれども、お名前が変わられたときとか金融機関の変更とか免許証の変更に住民票や戸籍を準備されて、変更手続を取られる方がほとんどですので、今後はそういったものの代わりにマイナンバーカードや住民票が利用できるようになって若干便利になるん

ではないかと思っております。

山田伸幸副分科会長　そういう変更の際には今まで表記のなかったマイナンバーカードでは使えなかったということなんでしょうか。旧氏が書かれた。

長井市民課長　今は現在の氏しか書いてありませんので、旧氏の証明にはなっておりません。

大井淳一朗委員　このシステム改修を受けて、旧姓も併記になるんですかね。今後ナンバーカードの表記の仕方はどうなるんでしょうか。

長井市民課長　現行決まっておりますのは、希望する者に併記ということになっております。

吉永美子分科会長　ほかにございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは先ほど環境課から説明がありました債務負担行為、斎場指定管理者委託料ですね。これにつきまして御質疑ございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは次、審査番号2に入りますので職員の入替えを行います。15時5分から行います。

午後2時59分　休憩

午後3時5分　再開

吉永美子分科会長　休憩を閉じまして一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会を再開いたします。それでは審査番号2番、健康福祉部関係の審査に入ります。執行部の説明をお願いいたします。

桶谷国保年金課長　それでは、健康福祉部関係分について御説明いたします。29、30ページをお願いします。3款1項1目社会福祉総務費、28節繰出金のうち、上段、国民健康保険特別会計繰出金は1,513万6,000円減額するものです。内訳は、人事異動等に伴う職員給与費等繰出金が26万4,000円の減額、保険基盤安定繰出金が1,520万円の減額、その他一般会計繰出金として国民健康保険負担軽減対策繰出金が32万8,000円の増額となっています。このうち、保険基盤

安定繰出金と国民健康保険負担軽減対策繰出金につきましては、国と県の特定期源がございますのでこれらも調整しております。

吉岡高齢福祉課長 高齢福祉課分でございます。同じく、28節繰出金でございます。下段の介護保険特別会計繰出金797万6,000円の減額でございます。内訳は、保険給付の決算見込みによる市負担分の162万5,000円の減額、平成28年度事務費繰入金の精算により355万9,000円の減額、人件費の調整により279万2,000円の減額によるものでございます。

兼本健康福祉部次長 それでは同じページ、2目障害者福祉費の関係分について御説明いたします。2目障害者福祉費の補正前の額16億5,962万円に1億3,986万1,000円を増額いたしまして、17億9,948万1,000円にするものでございます。それぞれの節について当初予算額の執行状況を確認する中で、おおむねの決算見込額をもって、今回の補正額を算出いたしました。内訳として、12節手数料200万円の増額は、児童発達支援及び放課後等デイサービス利用者の増加に伴うもので、これらのサービスを利用するためには、支援プラン作成が必須であるため、計画相談作成手数料を増額するものでございます。13節委託料のシステム改修委託料108万円の増額は、平成30年度からの法改正に対応するためのシステム改修費です。20節扶助費につきましては、内訳として、居宅介護等給付費800万円の減額、グループホーム給付費400万円の増額、生活介護給付費900万円の増額、宿泊型自立訓練給付費400万円の増額、自立訓練（生活訓練）給付費420万円の増額、就労継続支援（A型）給付費1,400万円の増額、就労継続支援（B型）給付費2,700万円の増額、児童発達支援給付費630万円の増額、放課後等デイサービス給付費4,500万円の増額。31、32ページをお開きください。自立支援医療給付費（更正医療）600万円を増額して、扶助費差引総額1億1,150万円を補正するものでございます。これの主な理由としましては、就労系サービスや放課後等デイサービスにおきましては、利用人数、利用日数とも年々増加傾向にあるため、決算見込額が増加していること、医療費（更正医療）サービスの増につきましては、扶助の対象者が生活保護者の場合は、医療費全額を障害福祉費で負担することから、当初予算を見込みにくいため、中間期に現状を把握する中で補正対応をお願いするものでございます。

次に、23節償還金、利子及び割引料につきましては、償還金を2,528万1,000円増額するものですが、これは、平成28年度決算に伴う自立支援給付費、障害者医療給付費の国費県費負担金及び後期高齢者医療保険高額医療費の交付超過に係る精算に伴う償還金であります。

なお、今回の補正予算の財源といたしまして、12節役務費及び20節扶助費につきましては、国費負担率が2分の1、県費負担率が4分の1、市費の負担率が4分の1であります。13節委託料につきましては、国費補助率が2分の1、市費が2分の1でございます。また、そのほかとして国、県負担金の精算に伴い不足となった交付金につきましては、追加交付され過年度収入として歳入しております。以上です。よろしく御審査をお願いいたします。

吉岡高齢福祉課長 続きます。高年齢福祉課分でございます。3目高齢者福祉費、償還金3万7,000円でございます。これにつきましては、平成28年度に介護保険低所得者利用対策事業費として県から補助金を受けておりましたが、対象者がいなかったため、全額を県に返還するものでございます。

桶谷国保年金課長 続きます。4目後期高齢者医療費は89万9,000円増額し、補正後の額を11億3,731万3,000円とするものです。内訳は28節後期高齢者医療特別会計繰出金を89万9,000円増額するものです。内訳は事務費等繰出金を70万3,000円減額し、人事異動に伴う職員給与費等繰出金を160万2,000円増額するものです。

川崎こども福祉課長 それではこども福祉課関係分について御説明いたします。33、34ページをお開きください。3款2項2目児童措置費、補正額は4,356万円の増額でございます。13節委託料、4,516万6,000円は私立保育所に交付する保育所運営費で、決算を見込んで増額するもので、これは国、県の負担割合、国2分の1、県4分の1でございます。19節負担金、補助及び交付金は私立幼稚園運営費負担金1,173万円の増額、そして地域型保育事業運営費負担金1,167万4,000円の減額で、いずれも決算を見込んで補正するもので、国、県の負担については私立幼稚園については全国統一分と地方単独分に分かれて、基準に基づく国又は県の負担がでございます。地域型保育事業

では国2分の1、県4分の1の負担があります。20節扶助費1,700万円の減額で、いずれも決算を見込んだ補正で、乳幼児医療助成費は500万円の減額、これは県2分の1の補助がございませう。次の乳幼児医療助成費（市単分）1,000万円の増額、これは市単事業で一般財源でございませう。児童手当は1,200万円の減額で、これは年齢に応じた割合による国、県の負担がございませう。児童扶養手当は1,000万円の減額、この負担割合は国が3分の1でございませう。23節償還金、利子及び割引料、償還金1,533万8,000円の増額は、平成28年度の子ども・子育て支援交付金や児童手当の国、県負担金など五つの補助事業の精算に伴う返還金でございませう。

35、36ページをお開きください。3目ひとり親福祉費は、補正額361万8,000円の減額です。19節負担金、補助及び交付金、ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等給付金400万円は、決算を見込んで減額するもので、補助割合は国4分の3です。23節償還金、利子及び割引料、償還金38万2,000円は平成28年度母子家庭等対策総合支援事業費、国庫補助金の精算に伴う返還金です。

4目保育所費、人件費以外のこども福祉課関係分は13節委託料でございませう。設計委託料185万7,000円の減額で、これは山陽地区保育所整備事業基本設計委託について入札減がありましたので、これを減額するものです。これにはまちづくり魅力基金を充てていませうので、歳入の繰入金を180万円減額してございませう。

次に6目児童クラブ費1,260万円の増額です。37、38ページをお開きください。19節負担金、補助及び交付金、児童クラブ施設整備補助金1,260万円の増額は現在待機児童が生じている厚狭児童クラブにおいて民間事業所が新たに児童クラブ事業を行うに当たり、その施設の整備費用に対して子ども・子育て支援交付金の補助基準額の範囲内で補助金を交付するものです。この補助割合は国、県それぞれ3分の1ずつでございませう。

岩佐健康増進課長 健康増進課分について御説明いたします。39、40ページをお開きください。4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、19節負担金、補助及び交付金、産科医分娩手当補助金を103万円増額するものです。この補助金は、山陽小野田市産科医等確保支援事業補助金要綱に基づき医療機関に補助しているものです。当初261件の分べん件数を見込んでございませうましたが、産科医が1名増員となった月の

実績と年度末までの見込みを合計し、364件と見込まれるため増額するものでございます。これは、山口県医師就業環境整備総合対策事業ですので、上限額はあるものの、事業費の3分の1が県補助金として歳入されます。次に23節償還金、利子及び割引料についてです。償還金3万2,000円の増額は、平成28年度に行いました健康増進事業の精算を行った結果、健康手帳作成及び健康診査費におきまして、既に交付されていた補助金額が実績額を上回っていたため県に返還するものです。

次に、4款衛生費、1項保健衛生費、2目予防費について説明いたします。23節償還金、利子及び割引料2,000円の増額は平成28年度のポリオ2次感染の予防接種事故による健康被害救済事業の精算を行った結果、既に交付されていた補助金額が実績額を上回っていたため県に返還するものです。以上、慎重審議のほどよろしくお願いいたします。

渡部社会福祉課長 社会福祉課分について説明をいたします。債務負担行為の追加補正についてでございます。資料の6ページをお開きください。追加補正の上から2行目、中央福祉センター指定管理者委託料4,028万7,000円の計上でございます。これは既に指定管理者の指定について提案をしております中央福祉センターの平成30年度から平成32年度までの3年間の指定期間における指定管理料の上限額について追加計上したものです。以上です。御審議のほどよろしくお願いいたします。

吉永美子分科会長 それでは委員の皆様からの質疑を受けたいと思います。まず29ページ、30ページですね。御説明のあった関係部分について御質疑があれば挙手を願います。（「なし」と呼ぶ者あり）次は31ページ、32ページでございます。（「なし」と呼ぶ者あり）次が33ページ、34ページでございます。

大井淳一郎委員 2目13節の委託料、保育所運営費（私立分）なのですが、増額しておりますが、先ほども説明もあつたと思いますが、もう少し詳細に説明していただけたらと思います。

川崎こども福祉課長 幾つかの要因がございますが、一番大きなものは保育士の給与の処遇改善加算というのが昨年度引き続き、今年度新たに加算率が上がっております。それに伴う増額というのが一番大きな内容でございます。

吉永美子分科会長 33、34よろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）なければ35、36ページ。

杉本保喜委員 ひとり親家庭の高等職業訓練促進給付金等給付金が減額になったんですけれども、これについての実績ですね。これは我が市はどういう状況なんでしょうか。

別府こども福祉課主査 この事業につきましては、高等職業訓練促進給付費についての支給が実績としてあります。28年度の実績といたしましては、合計で12件、1,099万9,000円という支給実績でございました。平成29年度の現時点では7件の支給で、決算見込みを904万4,000円というふうに見込んでおります。

杉本保喜委員 29年度の7件を見たときに、ひとり親はお母さんとお父さんというわけですけど、その比率はどうなんでしょうか。

別府こども福祉課主査 全ての方が女性でございます。

矢田松夫委員 保育所費の関係で繰入金の減額は先ほど説明があったんですけど、もう少し詳しく説明できますか。

川崎こども福祉課長 4目保育所費について山陽地区保育所整備の基本設計委託料を入札減があった185万7,000円歳出を減額しているんですが、この基本設計委託料は全てまちづくり魅力基金を充てておりましたので、歳出を減額することに伴って、財源である基金のほうも繰入金を減額しているということでございます。

大井淳一郎委員 この基本設計はいつぐらいにできるというふうに見込んでいるんでしょうか。

川崎こども福祉課長 事業の委託期間は30年6月29日まででございます。

吉永美子分科会長 ほかにございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは37、38ページ。

矢田松夫委員 児童クラブの施設整備補助金ですが、これは施設整備ですか、具体的にもう少しどこをどのように施設整備を補助金に充てるのか、お答えできますか。

大濱こども福祉課課長補佐 こちらにつきましては、厚狭小学校地区の児童クラブで、今社会福祉法人真珠保育園さんが保育園横の元のコンビニエンスストアの建物を改修いたしまして、児童クラブを1支援単位開始されるということで、その整備費補助になります。

矢田松夫委員 建物ですか、土地ですか。どこをどのように補助金出すんです。

大濱こども福祉課課長補佐 こちらにつきましては、建物の中身をコンビニエンスストアの店舗から児童クラブの保育室に変えるという改修費の補助になります。

大井淳一郎委員 この施設を整備していただいて、民間の方にやってもらうことは大変いいことなのですが、今後の費用負担ですね。施設整備はしてあげるけど、今後は児童クラブやるでしょ、そこの主体が。今後は真珠保育園に対して支援というのはしていく予定はあるんでしょうか。

大濱こども福祉課課長補佐 運営費につきましても委託料という形でこちらがお支払いすることとなります。

大井淳一郎委員 それによって、今後厚狭の児童クラブの1年から3年、1年から6年か分かりませんが、大体守備範囲というか、厚狭小学校内にあります児童クラブとの兼ね合いってどうなるんでしょうか。

大濱こども福祉課課長補佐 現在厚狭児童クラブにつきましては、学校内に2支援単位、2クラスございます。1年から3年までの受入れまでをしているんですけど、11月現在で19人の待機が発生しております。このたび真珠保育園さんのほうが整備していただくことによって、1支援単位、約40人の受入れが可能となりますので、1年から3年までの受入れは可能ではないか、待機がなくなるのではないかというふうに考えておりますが、6年生までの受入れというのはまだ課題は残っているとい

うふうに分析しております。

山田伸幸副分科会長 あの場所ですと、グラウンドがないのではないかと思うんですが、そういった対応はどのように考えておられるのでしょうか。

大濱こども福祉課課長補佐 そちらにつきましては、保育園、幼稚園の園庭等を活用して、保育をされるというふうに聞いております。

矢田松夫委員 今回の施設整備はあくまでもリフォーム代ということでいいんですね。もう一つ、運営費で今から考えられるのは例えば施設を借りるとか、土地を借りる、駐車場を借りるとか、そういったものは今後また別に予算を組まれるということでもいいんですかね。

大濱こども福祉課課長補佐 あちらの建物については真珠保育園さんのほうで土地、建物の賃貸借を行われますので、その賃貸借料も含めた委託料をお支払いすることとなります。

吉永美子分科会長 よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、最後39ページ、40ページ。（「なし」と呼ぶ者あり）債務負担行為ですね、先ほど審査いたしました6ページの中央福祉センター指定管理者委託料ということで、これについてはよろしいでしょうか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、質疑を終了いたします。一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後3時28分 散会

平成29年12月7日

一般会計予算決算常任委員会民生福祉分科会長 吉 永 美 子